

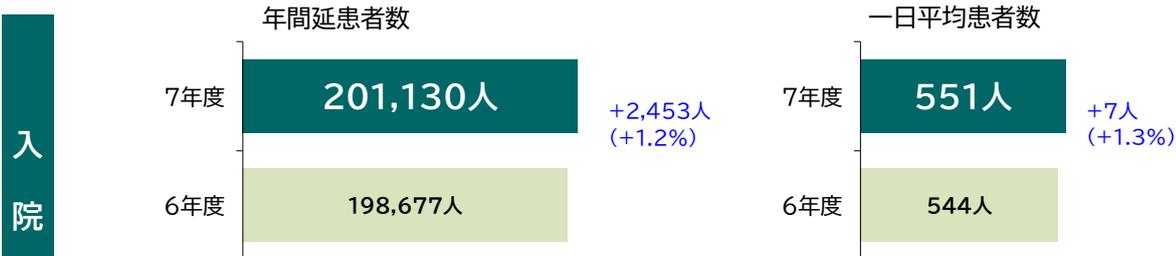
# 令和7年度予算案の概要

令和7年度予算においては、外来化学療法センターの利用者増などによる外来収益増を見込み、収益的収入全体では9.1億円の増加としております。一方、収益的支出では、給与費や材料費の増加を見込んでおり、収益的収支差引としては、13.7億円の赤字を見込んでおります。

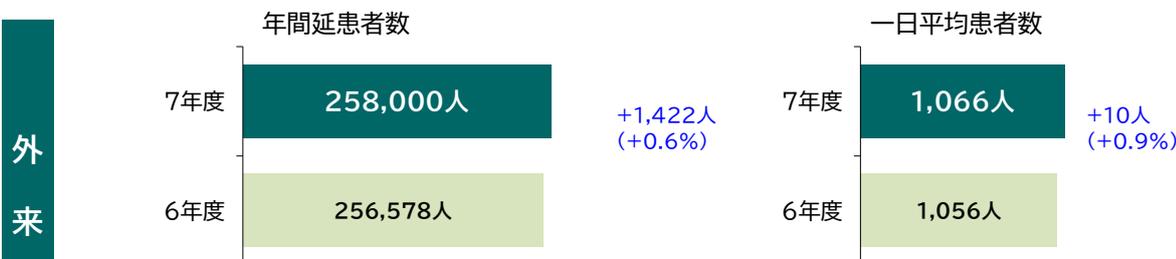
資本的収入については、一般会計負担金の減少などから、4.3億円の減少を見込む一方、資本的支出では、企業債元金償還金の減少等から7.2億円の減少を見込んでおり、資本的収支差引としては、7.3億円の不足を見込んでおります。

資金の状況としては、令和7年度単年度の資金残は▲11.7億円、過年度分と合わせた令和7年度末の資金残は▲20.2億円を見込んでおります。

## 1 年間延患者数と一日平均患者数(当初予算比較)



● 7年度は、6年度の決算見込などを踏まえ、年間延入院患者数は2,453人の増加を見込んでおります。



● 7年度は、6年度の決算見込などを踏まえ、年間延外来患者数は1,422人の増加を見込んでおります。

## 2 平均在院日数と新規入院患者数(当初予算比較)

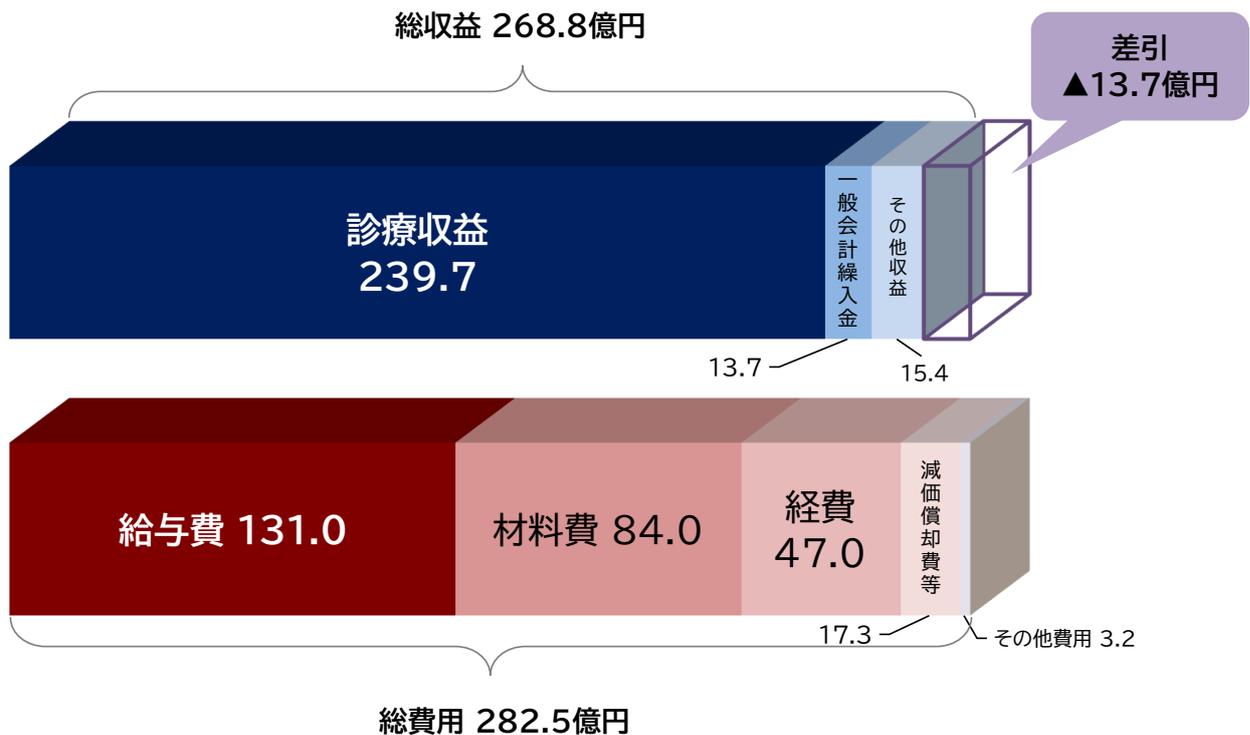


● 7年度は、平均在院日数では0.4日の増加、新規入院患者数では313人の減少を見込んでおります。

### 3 財政状況(税込)

※1千万円単位で表示しているため、総額とその内訳の合計が一致しない場合があります。

(1) 収益的収支(税込) <経営に伴って生じたすべての収益とそれに対応する費用⇒1年間の経営成績>



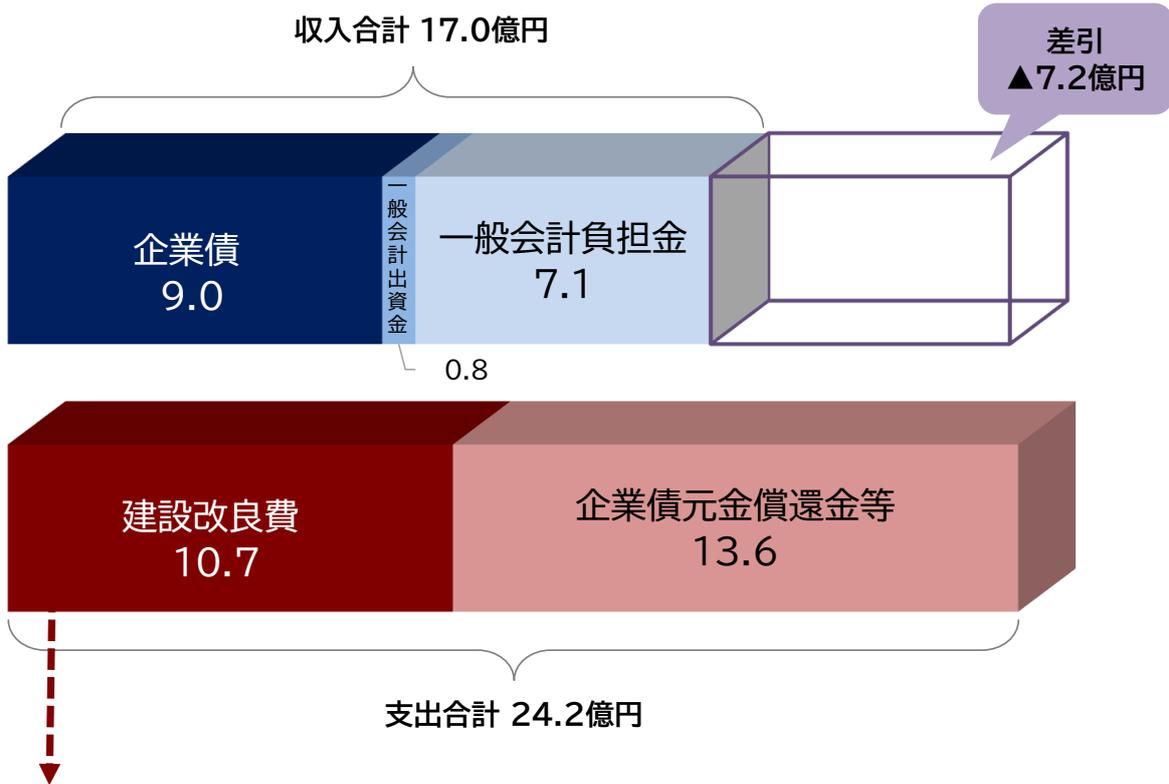
#### 【前年度との比較】

<総収益>		
対前年度	+9.1億円	(+3.5%)
<内訳>		
○診療収益	対前年度	+5.1億円
外来化学療法センターの利用者増加等による。		
○繰入金	対前年度	+3.1億円
精神医療に要する経費の繰入金、小児・周産期医療に要する経費の繰入金の増加などによる。		
○その他収益	対前年度	+0.9億円

<総費用>		
対前年度	+13.0億円	(+4.8%)
<内訳>		
○給与費	対前年度	+6.4億円
人事委員会勧告による給料の増加などによる。		
○材料費	対前年度	+5.9億円
患者数の増加などによる。		
○経費	対前年度	▲0.2億円
○減価償却費等	対前年度	+1.0億円
○その他費用	対前年度	▲0.2億円

収益的収支は前年度から3.9億円の悪化

(2) 資本的収支(税込) <建物や医療器械などの整備費用とその財源、借入金の返済など>



【建設改良費の内訳】

- 病院整備費 5.0 億円 ナースコール設備更新工事ほか
- 医療器械購入等 5.6 億円 SPECT-CT更新ほか

(3) 資金状況

当年度収支 ▲20.9億円  
(収益的収支▲13.7億円+資本的収支▲7.2億円)

+

損益勘定留保資金等(現金を伴わない収益と費用等) 9.2億円

||

当年度分資金残 ▲11.7億円

+

過年度内部留保資金(前年度までの資金残) ▲8.4億円

||

年度末資金残 ▲20.2億円